



好学愛知  
自律敬愛  
質実剛健

# 鶴丸イ言

## ポストコロナへ想うこと

地歴公民科 銚谷 寿一

鹿児島県の高校生に、今年(二〇二三年)の夏から秋にかけての印象を尋ねたとするならば、例年以上に「忙しかった」「充実していた」といった回答が多いかもしれない。そしてそれは、本校生にもききとあてはまることだろう。七月末からの全国総文祭に参加した人、八月のお盆明け、授業再開前には定期演奏会が入学制限を設けない形で実施され、九月には、野球部の活躍・快進撃により全校応援の機会にも恵まれたし、久しぶりに多くの保護者やご家族の方が来場して下さった体育祭もあった。十月に迫った特別国体に選手・役員・補助員として参加する予定の生徒も少なくないし、体育祭と同様に多くの方が来校されて、盛会になることが期待される文化祭も控えている。

さて、「忙しかった」とか「充実していた」という回答が多くなると予想する背景の一つに、コロナ禍の三年余りの期間における、様々な制限・制約の反動があることは、きつと多くの人の意見が一致するところだと思ふ。もちろんこれからは感染症対策には最大限の注意を払いながら行事は運営されるだろうし、決して下火になつたとは断言できないので過去形で語るには時期尚早だと思うのだが、とはいえ本場に様々なことに制限と制約を強いられざるを得なかつた日々を思い返すと、(もちろん現在でも、それ以外に予算面とか物理的にかいといった制約はあるのだが)やりたいと思うことがある程度やりたいようにやれるというのは、本当に「有難い」ことなのだと思う。

話は少し変わるが、昨年の三月、「新二年(現在の三年生の学年)の担任と併せて、生徒会の担当をお願いしたい」というお話をいただいた際に、あまり悩むこともなく「分かった」という返事をしたことをよく覚えている。その年度の文化祭の係として、生徒会執行部の生徒と関わっていたということも、もちろん理由の一つではあるのだが、彼らが掲げていた「コロナ禍前の復帰」という目標は、私にとつても意志を同じくするところであり、個人的には三年前のリベンジマッチという意味合いが大きかつたのだ。

二〇一九年度、私は当時の二年生(七十二回生)の担任をしながら、生徒会の担当をしていた。執行部役員の生徒も、もちろん私も運営をする立場としては初めてのクラスマッチや体育祭、文化祭などを経て、残すは翌年度、三年生に進級したらすぐにやってくる四月の甲鶴戦のみ。ホスト校は甲南高校とはいえ、秋から何度も先方に足を運び、幹部会、両校協議会、部長会を経て、年も明けてきた残すところ二カ月余り、というところでの、あの一斉休校。出席者は卒業生と教職員だけで、保護者も在校生も不在だった卒業式で学び舎を巣立っていった七十一回生のことを思えば、学校行事が出来ないことは甘受すべきことと頭では何とか自分自身を納得させようとしながらも、甲鶴戦、高校総体、コンクールと、これまで存在することが当たり前であつたあらゆるものが急に消失してしまふことに對し、怒りや憤りを通り越して茫然たる思いすら抱いたのは私だけではなかつたと思ふ。

一方で、歯がゆい思いを抱えながら、生徒達にどんな言葉をかければよいのか困惑の中にあつた私に、ハツという気付きを与えてくれたのは、生徒会執行部の生徒であつた。「人が集まることは徹底的に避けるべし」となつていった時世。とはいえ、生徒会の規約上、生徒総会は開くことが必須である。一人一台のタブレットなどなかつたあの頃、質疑応答はクラスマッチで使つていた無線機を活用する等、工夫をして何とか生徒総会の開催を目指し試行錯誤する執行部役員の生徒が次に考えたのは、いかにライブ感・臨場感・「生徒総会に参加している!」という感覚を全校生徒に持つてもらうかということ。検討の結果、体育局長のSさんと、放送部員でもあつた会計総括のAさん、書記総括のTさんがパーソナリティ役となり、生徒会長のS君をゲストに迎えて生徒からの質問に答えるというラジオ番組形式で、放送室からの生徒総会が開催された。制限・制約がある中で、それを逆手にとつて新しい形で何とか行事を実現しようとする姿に「ああ、高校生って、鶴丸生ってすごいなあ」と、感銘を受けたことをよく覚えている。

さて、ポスト・コロナあるいはアフター・コロナの観が鮮明になりつつある今、高校生は、そして鶴丸生は、次にどんなことで刮目させてくれるのだろうか。何かがいとも通りでできなかった事ではなく、いつも通りではなかつたけれども、工夫したという努力の過程を「遺産」として、あの数年間を決して単なる暗闇と捉えず、その中で培つたことを生かして、次のステージへと進んで行くことを期待している。

生徒が毎日記入している「学習の軌跡」のコメントの一部を紹介します。「全てのテストが返ってきた。訂正と反省をしっかりとしました。」「明日の英語の確認考査に向けて勉強しました。」「総合の研究計画書がやっと終わった。研究が楽しかったです。」「野球の全校応援がとても楽しく、最高の思い出ができました。」「スイートメモリーはちょっと恥ずかしかったです。でも楽しかったです。」「今日は、秋休みの勉強の計画を立てた。」「今日は夜ご飯がハンバーグで、幸せな気持ちになりました。」

## 第四十六回定期演奏会

八月十七日(木)、宝山ホールで定期演奏会が開催され、吹奏楽部、音楽部、音楽選択者の生徒の他、沢山の卒業生がステージに立ちました。今年は吹奏楽部とプロのバイオリニストの田中愛さん(四十四回生)とのコラボや、吹奏楽部、音楽部の合同ステージなどもありました。最後は、新型コロナウイルスによる各種制限が解除されたこともあり、嵐の「ふるさと」を、ご来場の皆様と共に、全員で合唱しました。

九月二日(土)、一年生を対象にGO鶴セミナー(先輩に学ぶ職業講話)がありました。今年度も、各学級2名ずつの先輩方から、貴重なお話を聞くことができました。ここで、17Rの永田悠人君の感想を紹介します。「人の喜びを自分の喜びに」という水原さんの言葉に、大きな衝撃を受けました。他人の幸せが自分の幸せになるなんて、考えたこともありませんでした。私は無意識のうちにどうしても自己中心的な「わがことばっか」な考え方になり、人のために何かをしようとは思いません。しかし、自分の満足のためという考え方であれば、私も人のために働くことができる気がします。立派な動機ではなくても、人の喜びのために自分が動く、そうして、私なりのEnlighteners(フオア・アザーズ)を見つけていきたいです。

九月九日(土)、好天の下、体育祭が開催されました。四年ぶりに入場制限なしとなり、山の保護者にご来場いただきました。また、マスコットとなり、生徒の笑顔が弾ける、久々の体育祭となりました。なお、優勝は青組(二年生)でした。また、女子八百メートルでは、13Rの牧優佳さんが、新記録をマークしました。

## 第七十五回体育祭

九月九日(土)、好天の下、体育祭が開催されました。四年ぶりに入場制限なしとなり、山の保護者にご来場いただきました。また、マスコットとなり、生徒の笑顔が弾ける、久々の体育祭となりました。なお、優勝は青組(二年生)でした。また、女子八百メートルでは、13Rの牧優佳さんが、新記録をマークしました。

九月六日(水)、野球の秋の県大会で、全校応援がありました。前回の三回戦で、三十五年ぶりに鹿実を二対一で破り、勢いに乗る鶴丸は、この日の準々決勝で、出水工業と対戦しました。結果は十一対九で接戦を制し、十九年ぶりのベスト四進出を果たしました。鶴丸はこの後、体育祭の振替休日である九月十一日(月)、準決勝でれいめいと対戦し、三対四で、惜敗しました。

九月六日(水)、野球の秋の県大会で、全校応援がありました。前回の三回戦で、三十五年ぶりに鹿実を二対一で破り、勢いに乗る鶴丸は、この日の準々決勝で、出水工業と対戦しました。結果は十一対九で接戦を制し、十九年ぶりのベスト四進出を果たしました。鶴丸はこの後、体育祭の振替休日である九月十一日(月)、準決勝でれいめいと対戦し、三対四で、惜敗しました。



「学習の軌跡」より  
生徒が毎日記入している「学習の軌跡」のコメントの一部を紹介します。「全てのテストが返ってきた。訂正と反省をしっかりとしました。」「明日の英語の確認考査に向けて勉強しました。」「総合の研究計画書がやっと終わった。研究が楽しかったです。」「野球の全校応援がとても楽しく、最高の思い出ができました。」「スイートメモリーはちょっと恥ずかしかったです。でも楽しかったです。」「今日は、秋休みの勉強の計画を立てた。」「今日は夜ご飯がハンバーグで、幸せな気持ちになりました。」



九月六日(水)、野球の秋の県大会で、全校応援がありました。前回の三回戦で、三十五年ぶりに鹿実を二対一で破り、勢いに乗る鶴丸は、この日の準々決勝で、出水工業と対戦しました。結果は十一対九で接戦を制し、十九年ぶりのベスト四進出を果たしました。鶴丸はこの後、体育祭の振替休日である九月十一日(月)、準決勝でれいめいと対戦し、三対四で、惜敗しました。



九月九日(土)、好天の下、体育祭が開催されました。四年ぶりに入場制限なしとなり、山の保護者にご来場いただきました。また、マスコットとなり、生徒の笑顔が弾ける、久々の体育祭となりました。なお、優勝は青組(二年生)でした。また、女子八百メートルでは、13Rの牧優佳さんが、新記録をマークしました。

## 行事予定

月	日	曜日	行事等	校時	時間制変更等	学食
9	25	日	■前期終業式 大掃除 1・2年実力考査時間割発表			○
9	26	火	秋季休業日			×
9	27	水	秋季休業日			×
9	28	木	秋季休業日 部活中止(10月5日(木)まで)			×
9	29	金	秋季休業日			×
9	30	土				×
10	1	日				×
10	2	月	後期始業式	午前45分午後50分		○
10	3	火	SC来校(児玉先生 13:30~17:30)			○
10	4	水			水曜授業	○
10	5	木	1・2年実力考査(1日目) 1・2年学年PTA・進路講演会 1・2年生ロードレース大会前健康調査(~10/13)		1・2年考査	○
10	6	金	1・2年実力考査(2日目) 学校安全の日 週番引継会		1・2年考査	○
10	7	土	進研記述(3年)			×
10	8	日	第2回実用英語検定(一次) 進研記述(3年)			×
10	9	月	スポーツの日			×
10	10	火	1・2年PTA欠席者会		月曜校時	○
10	11	水	3年実力考査時間割発表			○
10	12	木	SC来校(大島先生 13:30~16:30)			○
10	13	金	週番引継会 全統記述(3年希望者) 学習時間調査(~10/19休)			○
10	14	土	全統記述(3年希望者)			×
10	15	日	阪大プレ(駿台)、特定大プレ(公開会場 北予備)			×
10	16	月	学年朝会⑥ 文化祭準備期間(45分授業 木まで) 学校たのしい~(10/25)	5分遅延 45分		○
10	17	火		45分		○
10	18	水	文化祭体育館設置(6, 6限) 3年実力考査(1日目)	45分3年考査	金曜授業	○
10	19	木	文化祭リハーサル 3年実力考査(2日目) 学習時間調査(本日まで)	45分3年考査		○
10	20	金	文化祭リハーサル・準備(1・2年終日) 中掃除週番引継会 車体検査(~10/27)			○
10	21	土	文化祭			○
10	22	日	東大・京大・一橋・東工大プレ(河合塾)、九大プレ(駿台)、鹿大プレ(公開会場 北予備)			×
10	23	月	文化祭振替休日 東大・京大・一橋・東工大プレ(河合塾)、九大プレ(駿台)			×
10	24	火	全校朝会⑥	5分遅延		○
10	25	水	ロードレース大会前健康相談(13:30~)	45分		○
10	26	木	避難訓練(15:20~16:10) SC来校(大島先生 13:30~16:30)	40分		○
10	27	金	出前講義(1・2年) 週番引継会			○
10	28	土	進研模試(1・2年) 進研マーク(3年)			×
10	29	日	進研模試(2年) 進研マーク(3年)			×
10	30	月	表彰式・社行会 いじめ問題を考えるLHR・SNSチェックシート 中掃除 SC来校(児玉先生 13:30~17:30)	午後15分遅延		○
10	31	火	3年生を激励する会(宝山ホール) 清掃カット		火⑤ ⑥⑦	×
11	1	水	文化講演会(午後) 県民週間(~11/7)			○
11	2	木	3年実力考査時間割発表 週番引継会		金曜授業	○

↑発行時の予定です。変更にご注意ください。